

令和2年度事業報告

1. 事業概要

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各種行事の自粛や外出制限等により企業団体等からの受注が大きく減少したほか、地区会や安全集会はすべて実施できず、普及啓発活動や各種講習会等も自粛に追い込まれました。

また、派遣事業についてもコロナ禍による事業所の休業や、定年延長の実施により事業所が会員を直接雇用へ切り替える等の影響を受けて事業実績が初めて前年度比減少しました。

以下、令和2年度事業についてご報告します。

(1) 公益目的事業の推進

① 就業分野と会員の拡大・確保

ア、山口県シルバー人材センター連合会が実施する高齢者活躍人材確保育成事業での一般高齢者を対象とした講習会や就業体験事業に協力しました。

イ、入会案内会では入会意欲を高めるために、求人中の仕事を紹介しました。

ウ、昨年に引き続いてお客様満足度調査を実施し、結果についてはホームページに掲載しました。

エ、入会意欲を高めるために、リーフレットは刷新して最新情報の掲載に努めました。

② 普及啓発活動とボランティア活動

ア、市報「やまぐち」に入会案内会や各種講習等の募集記事を掲載依頼しました。

イ、公益目的事業を推進するため広報紙「すこやか」を年2回発行しました。

ウ、入会者を増やすため、山口銀行フィナンシャルグループが行う「からだ測定会」に参加し、PRを行いました。

エ、ホームページは最新情報の掲載に努め、各種事業の情報を発信しました。

(2) 会員研修と技能講習会の実施

① 会員研修の実施

ア、公益法人としてコンプライアンスを推進するため、新入会員を対象とした必修研修会を実施し、事業の内容や安全就業の心得及び就業マナーの習得を図りました。

② 技能講習会の実施

ア、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から多くの講習会を自粛しました。

(3) 安全・適正就業の推進

① 安全・適正就業委員等による安全パトロールを2回実施しました。

- ② 安全・適正就業基準に沿った就業を推進し、剪定班や草刈班ではチェックシートによる安全点検を実施しました。
- ③ 適正就業ガイドラインに沿って適正就業を推進しました。
- ④ 会員就業規約及び就業基準要綱等に沿ったローテーション就業及び分かち合い就業を推進しました。
- ⑤ 「安全就業便り」等で安全就業や交通安全の呼びかけ、及び健康診査の受診や健康管理の呼びかけを実施しました。

(4) 健全な財政運営とガバナンス及び関係機関との連携

① 健全な財政運営とガバナンス

ア、公益法人として義務付けられている関係書類等を山口県知事に提出するとともに、収支相償に適合した財政運営を行いました。

イ、法令及び定款に沿った運営を行い、総会や理事会の運営についてもガバナンスを徹底しました。

② 関係機関との連携

ア、行政及び議会には引き続き事業の支援を要望しました。

イ、山口市との空き家等の適正な管理の推進に関する協定に基づき、空き家等の管理等の依頼に対応しました。

ウ、介護予防・日常生活支援総合事業の訪問型サービス（A-②）は、山口市との連携により実施しました。

(5) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業の実施

少子高齢化による労働力不足の中、サービス業等の人手不足分野や現役で働く世代を支える分野で高齢者が就業することが地域経済の発展・維持のために不可欠ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止による影響で前年度を下回る結果となりました。

(6) 入会相談、情報の提供

① 入会を希望する高齢者に対して、事業説明・入会手続き会を実施（4・5月は中止）し、入会促進に努めました。

② 問い合わせや事務局に就業等の相談に来られた高齢者に対しては、センター等の情報を提供しました。